

情報交差点・心と心の交わり

あじまへ

大宜味村教育委員会

電話 44-3006

FAX 44-3020

小さな一歩でもその1歩が人生をかえる

コロナ禍で頑張る受験生たちをサプライズプレゼントで応援



2月25日（金）、大宜味中学校3年生に「大宜味中学校3年生大輔クラス輝く21名を応援する会」から、コロナ禍の中、高校受験に向けて頑張る3年生にサプライズプレゼントが手渡されました。

昨年度に続き今年度も新型コロナウイルスの影響で行事や楽しみにしていた修学旅行も規模縮小となり、学校生活でも自粛や制限を余儀なくされた生徒たち。まだまだ不安を抱える中ですが、春には己の夢に向かって高校受験に挑みます。そんな3年生の頑張りに後押しできないかと、住民福祉課の島袋経子さんが発起人となり、役場の同志や大宜味村民生委員・児童委員協議会（島田哲夫会長）などが集まり「大宜味中学校3年生大輔クラス輝く21名を応援する会」を結成、密かに準備を進めてきました。

サプライズプレゼントにはイチゴとシークワサーゼリー、シーちゃんとかぐニ大名が描かれたクッキー、受験にきっと勝つという願いが込められたキットカット、そして3年生に向けた応援メッセージも入れました。企画からプレゼントの中身まですべてが手作りの今回のプレゼント。ケーキに使用した卵は江洲区の照喜名恵子さん、イチゴは沖縄セルラーアグリ&マルシェ株式会社さんが提供。1つ1つのお菓子も応援する会のメンバーの手作りです。

経子さんは「まだまだコロナ禍が続いており、受験に挑む3年生を応援したいと思った。今年も多くの方が協力してくれ、サプライズプレゼントができた。地域みんなが3年生を応援している」とエールを送りました。

3年生を代表し、中井天斗さんは「楽しみにしていた修学旅行が県内の体験学習になるなど、中学校生活では寂しい思いもした。今回のプレゼント、みなさんが応援してくれることはすごく嬉しい。この気持ちに応えられるよう、クラス全員、合格します！」と宣言しました。

地域の方々みんなが3年生を応援しています！頑張れ受験生！



◆ 村内小中学校・こども園・教育委員会 異動者 退職者 ◆

大宜味中	大宜味小
1年副担任 松川達先生（本部中）教頭昇任	教頭 屋宜健先生（真喜屋小）校長昇任
2年担任 安富高成先生（今帰仁中）	4年担任 安仁屋宗平先生（伊豆味小）
2年副担任 宮城有理先生（今帰仁中）	きらめき 上間かな子先生（名護小）
2年副担任 比嘉ちなつ先生（伊平屋中）	きらめき 仲本めい先生（宜野座小）
3年副担任 島田政也先生（伊波中）	特別支援員 金城大樹先生
3年副担任 山川拓也先生（名護中）	バス運転手 根本麻貴子さん
学習支援員 松田康平先生（伊野田小）	教育委員会
学習支援員 新垣佳奈子先生（今帰仁小）	教育課長 宮城豊さん（総務課）
用務員 真謝京子さん	学校教育 吉田弥生さん（企画観光課）

こども園
ちゅうりっぷ組 島袋瀬里奈先生

給食センター
調理員 平良巖さん

これまで大宜味村の教育・子どもたちのために、
ご尽力いただきありがとうございます。
新天地でのご活躍をお祈りしております。



～教育委員会 会議だより～ 会議で決定した事項をお知らせします。

第2回 教育委員会会議 令和4年2月21日（木）午後2時 開催

《審議事項》

議案第1号	県費職員管理職異動の内申について	《原案可決》
議案第2号	大宜味村文化財保護条例の一部を改正する条例	《原案可決》
議案第3号	大宜味村子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例施行規則の一部を改正する規則	《原案可決》
議案第4号	大宜味村保育の利用の調整に関する規則の一部を改正する規則	《原案可決》
議案第5号	大宜味村立幼保連携型認定こども園職員給食費徴収規程	《原案可決》

図書室情報 No.32 2022年（令和4年）4月 大宜味村図書室（旧大宜味小学校2F：村史編纂係内） 大宜味村字大宜味1番地 0980-44-3009

●利用状況累計●
○来室者数…のべ1,503人
○貸出冊数…2,816冊
○登録者数…116人

●3月の統計（3/25まで）●
○来室者数…のべ70人
○貸出冊数…134冊
現在の蔵書数…6,449冊

4月図書室カレンダー 閉室日：

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

来室の際はマスクの着用、手指の消毒、できるだけ少人数でのご利用をお願いします。体調の優れない方は来室を控えてください。

『季刊うかたま』^{④③}～^{④⑧}巻には
“大宜味村 おぼあゑの屋ごはん”
の連載もあります！

おしらせ

2022年3月末日をもち「八重山日報」の定期購読を終了いたしました。

一般書・えほん・健康・介護・防災・料理・手芸・子育ての本などなど。沖縄の本もあります♪

新しい県立図書館の本貸出中！！



小学校～高校まで休まず登校 福地想楽さん 12カ年皆出席

喜如嘉出身の福地想楽さんが3月1日に名護高等学校を卒業。喜如嘉小から大宜味中、名護高まで12カ年皆出席の偉業を果たしました。



小、中、高と合わせると2356日の出席となります。

学校生活では遅刻も早退もなく、部活も休まず参加したという想楽さんは「学校に行かないと言う気持ちがなかった。体調管理には気を付けていた。気づけば12年という感覚」と話す想楽さん。

4月からは県外の大学に行くことが決まっており、大学でも部活を続けるため「たぶん休まないはず」と話してくれました。

12カ年皆出席はなかなかできることではなく、大変素晴らしい功績です。これを誇りに大学生生活も充実させてください。

令和4年度大宜味村育英会資金貸付募集のお知らせ

大宜味村育英会では、村内に住所を有し、大学、短大、専門学校（高等専門学校含む）等に在学している者で、経済的な理由により修学困難な学生を対象に、令和4年度資金貸付奨学生を次のとおり募集します。

- 採用人員 若干名
- 貸付金額 月額3万円（県内・県外同額）
※審査後、貸付決定者へ7月より貸付開始となります。
（7月については、4月～7月分の4ヵ月分を貸付いたします。）
- 応募資格 (1) 大宜味村に住所を有し、現在大学、短大、専門学校等に在学している者で、経済的な理由で修学困難な者。
(2) 学業優秀、志操堅固であること。
(3) 家計上学資の支出が困難であること。
- 提出書類 ①大宜味村育英会資金貸付申請書
②在学証明書（令和4年4月1日以降に発行されたもの）
③住民票謄本（続柄入り） ④所得証明書（同一生計者全員分）
⑤その他本会が指示する書類（必要に応じて本会から連絡いたします。）
- 受付期間 令和4年4月1日（金）～4月28日（木）8:30～17:15
（土日祝日、12時～13時を除く）
- 提出先 大宜味村育英会（大宜味村教育委員会内） 〒905-1306 大宜味村字大宜味1番地
- 奨学生決定通知
貸与者の選考は、願書等の書類に基づき、村育英会役員会の審議を経て決定します。
（5月下旬～6月上旬予定で本人宛通知します。）
※その他ご不明な点については教育委員会へ合わせ下さい。 ☎0980-44-3006

3月16日おおぎみこども園修了式



平良瑛菜	幸野朱李	平良日涉	高橋怜士	大城蓮	湧川陽太
佐久川己央	平良碧琉	知念花純	宮城生楽	神里梨帆	金城美宇
新城エレナ	水本歩花	高澤良武	比嘉琉士	上地貴子	光部陽介
親川桜	濱元千莉	若生麻央	山城柚音		

男子8名 女子14名 計22名



3月16日（水）、おおぎみこども園において令和3年度修了式が行われました。担任の唯子先生を先頭にしっかりとお辞儀をして堂々と入場してきた修了生。式では話している人に体を向け、背筋もピンとしたままお話を聞くことができ、立派なお兄さん、お姉さんに成長した姿を見せてくれました。

宮城政信園長先生は「みなさんは園の目標にある『げんきいっぱい おもいやりいっぱい かがやきいっぱい』の通りの園児たちでした。体も心も大きくなり、自分たちでよく考えることもできました。きっと立派な1年生になれます。自信を持って送りたい」と激励しました。

式終了後には在園生たちが花道を作り大好きなお兄さん、お姉さんたちを笑顔で送り出しました。

3月17日大宜味小学校卒業式



大城青夏	嘉陽思珠那	平良夏音	名城侍	宮城重磨
福地飛楽	澤野天藍	宮城泰利	平良琉之佑	宮城瑠依
宮城優	大城桜愛	宮里葵衣	宮城望夢	吉田愛美
宮城遼楠	金城ゆうの	照屋溪空	屋我浩大	廣河天俐
眞喜志光莉	大嶺來那	下地倅生	平良芽楓	崎山松

男子10名 女子15名 計25名

3月17日（木）、令和3年度大宜味小学校卒業式が行われました。穏やかで素直な今年の卒業生。お互いを認めあうことができる仲間たちが集まったクラスでした。

新垣郁代校長先生は「いつも後輩の先頭に立ってくれてありがとう。中学生になったら、何事にも前向きにチャレンジして成長の糧にしてください。人生の主人公は自分です。自分で自分を作ってください。あなたたちは一人ではない。家族や仲間がいます。あなたたちを応援してくれる人はたくさんいるので安心してください」とはなむけの言葉を送りました。



3月12日大宜味中学校卒業式



島袋音々	島袋月菜	中井天斗	福地美楽惟	金城英城
藤田雫	與那嶺りる	溝川唯花	宮城はち	宮城琉一斗
玉城美愛音	宮城心美	高澤瑛都	稲垣來星	宮城力輝
金城吏勇	大城琉音	志良堂世奈	當間果夢	プライス美亜

男子9名 女子12名 計21名



3月12日（土）、令和3年度大宜味中学校卒業式が行われました。何事にも全力で取り組み、どんな状況でも笑顔で前向きな42期生。コロナ禍でもその姿は変わりませんでした。

宮城はちさんは在校生に向け「みなさんに伝えたいことが3つあります。1つ目はこれからも大中文化を受け継ぎ、私達の素晴らしい母校を残して欲しいということ。2つ目は、何事も全力で楽しむノリの良さを忘れないでほしい。最後に今の大宜味中学校を発展させ、もっと盛り上げて欲しい。4月には新入生も入学してきます。生徒会長を中心にパワーアップした新たな大宜味中学校を創り上げてください。きっと、あなた達ならできます。残された中学校生活は貴重です。日々、大切に過ごしてください。」と想いを託しました。

個性豊かで常に全力投球の42期生。新天地での活躍を期待しています！

(6) 木炭に使う

戦後から炭焼きをはじめた。(饒波)

車が通る道がなく人力で港まで担いで降ろさなければならず薪より木炭が主流だった。(押川)

リュウキュウマツは炭にしてヤチムンヤーやカンジャーヤー(鍛冶屋)向けに売った。(江洲)



津波。山の上まで段々畑になっており、薪や木材は奥山までとりに行った 1945年4月3日(沖縄県公文書館所蔵)



小学生の山入り作業 昭和24年(塩屋小学校創立100周年記念誌)



販売用の薪。ホウライチクで束ねられている(名護博物館所蔵)



先人が伐ったひこ生えから成長したイタジイ



薪を運ぶ婦人(大保誌)



木材を積んだトラック(大保誌)



村史編さんだより

第132号 2022年4月1日 大宜味村村史編纂係44-3009

—薪(タムン)のお話—

ガスが普及する前のカマドの時代(～1950年代頃)、薪は燃料として生活に欠かせないものでした。自家用はもちろんのこと、売店の商品と物々交換をしたり、出荷して現金収入を得る唯一の手段でもあり、昔の人々は薪として利用する植物の性質をよく理解し、使い分けていました。

今回は間もなく発刊される『大宜味村史 人と自然編』の中から、大宜味村の薪と生活の関わりについてご紹介します。



浜辺に出荷された薪。写真は東村川田だが大宜味村も同様な光景が見られたと思われる。

(沖縄県公文書館所蔵)

(1) 薪に利用する植物

リュウキュウマツ、イタジイ、ヤブニッケイ、ソウシジュ、シャリンバイ、クスノキ、タブノキ、エゴノキなどがあるが、中でもよく使われていたのがリュウキュウマツ、イタジイ、ヤブニッケイ。

(2) 薪の知識

リュウキュウマツ(マチ、マーチ)…よく燃えるので薪によい。松葉で羊を炊いた。松脂でイサイをした。イタジイ(シージャー、シーギ)…奥山に沢山あった。販売用は直径20cm位のを二つが四つに割った。ヤブニッケイ(ジクム、ジクン、スバキなど)…軽くて運びやすかった。油が多いのでよく燃えた。シャリンバイ(テーチ)…木が堅くて火が長持ちするので正月用の薪に使った。お産後の薪として使った。エゴノキ(サーマギ、シチャマギなど)…木が軽くて割りやすい。加工がしやすくしゃもじ等を作った。クスノキ…割りやすいので薪に使った。タンスなどを作った。押川で昭和初期まで樟脳製造をしていた。

(3) 薪の採取

・家庭用(タムン)…燃える木は何でも薪に使った。薪の代わりに松の枯れ葉をたくさん集めてきて使ったりした。アダンの枯葉を集めて焚き付けに使った。販売用をとった後の細かい枝を使った。小学5、6年生から薪取りに山へ行った(昭和生れ)。小学2、3年生から親の後を追って薪とりに行った(大正生れ)。
・販売用(ナラサー、ワイダムン、メーギ、サバチャーなど)…イタジイ(シージャーギー)は割りやすいので優先的に切って集落まで下ろし斧で割って売った。馬を使う前は人力で山から下ろした。大保や津波では切った木をいかだのように繋いで川から流した(ナガラサー)。

(4) 薪の販売

薪はタムンジャー(集積場。広場や浜辺など)に集め、山原船に積んで那覇方面へ出荷した。その後は売店など一ヶ所に集めた薪をトラックに積んで出荷した。車が山まで入れるようになると、直接山で薪をトラックに積み込んで運搬した。トラックを持っている人が買いにきた。

(5) 薪と社会生活

小学4年生以上は山入りして薪を取って売り学校の経費にした。戦時中は各家庭に薪の供出割り当てがあり、男手は徴用でいないので、子供が学校を休んで薪取りをした。(喜如嘉) / 売店でツケで買い物をし薪で清算した。(謝名城) / 山入りして薪を売り修学旅行費を稼いだ。(塩屋) / 売店に薪を持って行って物々交換をしたり、1束いくらとってお金と換えた。1952年、小中学生が薪を売ったお金をトラックをチャーターし南部一周旅行へ行った。(大保誌) / 給食のミルクを炊く薪を毎月学校へ持っていった。(江洲)



「しまふとうば」ぬくとう 75



うみがーみー

3月は村内においてはこども園の修了式、小・中・高校の涙あり笑いありの卒業式があった。4月には入学式等があり、幼児、児童、生徒は心身ともに日々成長していく。卒業式、入学式では児童生徒らの成長を感じると同時に、これからも環境の変化に対応し健やかに成長して行ってほしいと願う。

大人の世界も動く時期で、人事異動のある職場では悲喜こもごもの心の変化が沢山あったことだろう。3、4月は人間の社会では動きが激しい時期である。

植物の世界も同様に大きな動きがある。山野はすっかり新緑が揃い踏みだ。新緑は多くの木々の新芽なのだが、すべてが同じ緑色ではない。薄い～濃い緑まで様々な緑の種類がある。また、同じ新芽でも緑色ではなく黄、茶、赤色等の様々な新芽の色がある。厳密には木々の種類ごとの新芽の色があり、山野の芽吹きは実に賑やかである。新緑だけでなく多くの花々が我々の心を和ませてくれ、生命の息吹が一番感じられる季節でもある。

目の高さを下の方に向けるとそこもまた賑やかで生命の躍動が感じられる。人間が勝手に「雑草」と名付けている植物たちの生命力は実に旺盛だ。人間がその生育をコントロールする「作物」と呼ばれる植物は、人間のコントロールが不十分ならば、しばらくすると「雑草」たちに覆いかぶされる。あまり手入れをしない収穫が少し遅れた我が家の畑で生育しているラッキョウと玉ねぎは、勢い強く繁茂した「雑草」たちの中で、その存在が見えづらくなっていて、その後の畑を管理する作業がかなりの難儀さを伴うことを私に見せつけている。

3、4月は時の流れが速く感じられる。それだけに農作業は適宜な判断と行動をしなければならない！と、周りの植物から教えてもらっている。

～～ あきよ我（わん）畑（ふある）や 草ぬ畑（ふある）になてい
ぬーぬー（何々）植（うい）たが 見分きちかん ～～



今月の生きもの


タイワンハブ：クサリヘビ科



撮影：村山望

ウェイ♪ウェイ♪ウェ～イ♪ 俺様、タイワンハブ。
名前の通り、もともと台湾や中国、東南アジアにいるハブだぜい～。なんでここにいるかって？そりゃ、人間が俺たちを連れてきて逃がしたからさ。去年の12月には大宜味にも進出（轢かれたけど）。俺たち外来種は住みやすい環境にどんどん広がっていく。やんばるは餌もたくさんあるし、うかうかしてたら、元々いるハブと交雑したり、ハブを追い出して俺たちがやんばるのハブになっちゃうかも…。だから俺たちを見かけたら県や村に教えてあげて。

4月の行事予定

1日（金）（園）入園式・進級式・始業式	21日（木）（中）地区PTA定期総会	4月28日
村教職員顔合わせ会 区長会	22日（金）（小）授業参観	 象の日
6日（水）春の交通安全出発式	（小・中）学級保護者会	
7日（木）（小・中）新任式・始業式	23日（土）中体連春季大会 ～24日	
（中）入学式 県立高校入学式	28日（木）（小）春の遠足 定例教育委員会議	
8日（金）（小）入学式	29日（金）昭和の日	
14日（木）交通安全教室（5歳児小学校合同）	（中）地区学年別個人選手権ソフトテニス大会	